

クイズ 8%? 10%?

生きた牛 生きた豚
生きた鶏 生きた魚

生きた家畜（牛、豚、鶏など）は10%ですが、一般家庭で調理できる牛肉、豚肉、鶏肉などは8%。同様に生きた魚は8%ですが、観賞用の熱帯魚は10%です。

次の品はどちらでしょう

一番の景気対策は 増税しないことです

商品別・購入店別・決済手段別の消費税実質負担率	オロナミンC (清涼飲料水)		リポビタミンD (医薬部外品)	
	現金	キャッシュレス	現金	キャッシュレス
大手デパート	8% 「軽減」税率	8% 「軽減」税率	10% -	10% -
大手コンビニ	8% 「軽減」税率	6% 「軽減」+2%還元	10% -	8% 2%還元
中小商店	8% 「軽減」税率	3% 「軽減」+5%還元	10% -	5% 5%還元

「しんぶん赤旗」18年12月22日付より

軽減税率、ポイント還元 実質負担率は5段階に

金か③大手のスーパーなどに複雑に。消費税の実質負担率は①食品か食品でないか②カードで買うか現金か③大手のスーパーなどに

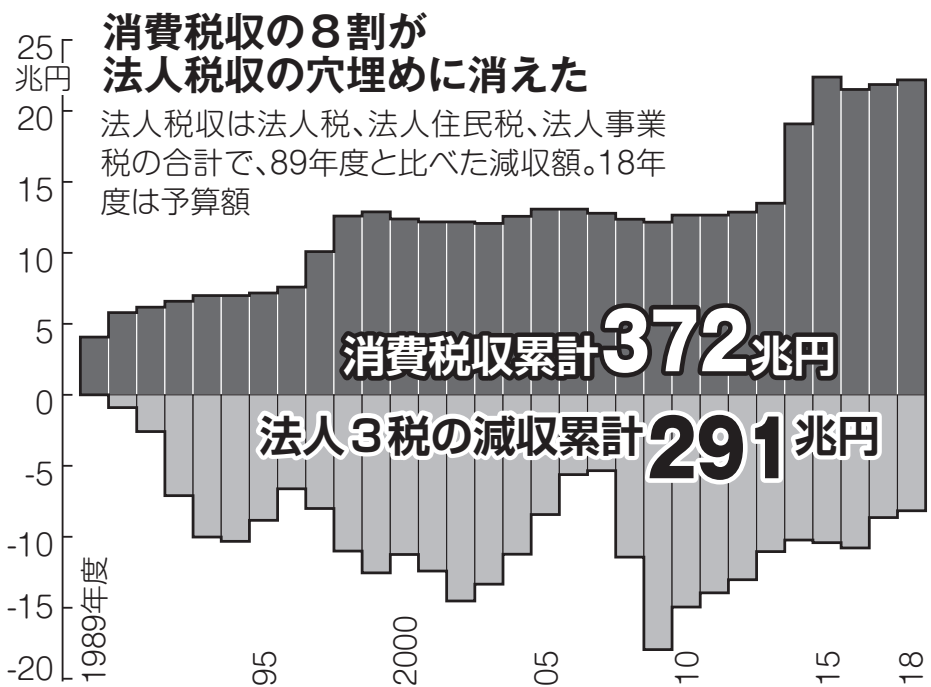
「ポイント還元」でさらに複雑に。消費税の実質負担率は①食品か食品でないか②カードで買うか現金か③大手のスーパーなどに

政府の消費税増税対策

奇々怪々 混乱必至 天下の愚策

テイクアウトは8%で、多くは存亡の危機に立たされています。イートインは10%。栄養ドリンクでも8%と10%が。政府の対策費用は2兆円超。増税分を戻すくらいなポイント還元。混乱は必至です。しかも、免税業者の政府の景気悪化対策は複雑怪奇。食品は「軽減」税率で8%据え置きなので、清涼飲料水（食品）のオロナミンCは8%、リポビタミンDは医薬部外品（食品でない）で10%。

消費税30年 社会保障のためでなかった



消費税込収の8割が法人税込収の穴埋めに消えた

法人税込収は法人税、法人住民税、法人事業税の合計で、89年度と比した減収額。18年度は予算額

国民だましやめよ

消費税込収導入後、社会保障は悪くなるばかり。19年度は3870億円を削減しようとしています。

政府は消費税増税を「社会保障のため」といいます。しかし、消費税は低所得者ほど負担が重い「弱い者いじめ」の税金で、消費税を社会保障の財源にするのは本末転倒です。しかも、消費税導入から30年、国民から計372兆円集めた一方で法人税は計291兆円も減っており、ほとんどが大企業を中心とした法人税減税の穴埋めに回されています。

大企業減税の穴埋めに

小売り3団体 反旗

日本スーパーマーケット協会、日本チェーンストア協会、日本チェーンドラッグストア協会は「ポイント還元」について、「日々の買い物において必要のない混乱が生じる」などと、政府に見直しを求めています。